

大学番号 公立24

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部設置

注1

認可

和歌山県立医科大学 薬学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人和歌山県立医科大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 薬学部事務室教学班

職名・氏名 フクシユサ オクノ マサシ
副主査 奥野 将史

電話番号 073-488-1843

（夜間） 073-488-1843

e-mail yakugaku@wakayama-med.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

薬学部

＜薬学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人和歌山県立医科大学

(2) 大学名

和歌山県立医科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒640-8156 (〒641-8509)

和歌山県和歌山市七番丁25-1 (和歌山市紀三井寺811番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミヤシタ カズヒサ) 宮下 和久 (平成30年4月)		
学長	(ミヤシタ カズヒサ) 宮下 和久 (平成30年4月)		
学部長	(オオタ シゲル) 太田 茂 (令和3年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
薬学部 薬学科 学士（薬学）	薬学関係	6年	100人	- 年次人	600人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度 令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100人 () []		1倍	-1倍	
志願者数	259 (-) (-) [-] [-]	-			
受験者数	211 (-) (-) [-] [-]	-			
合格者数	102 (-) (-) [-] [-]	-			
B 入学者数	100 (-) (-) [-] [-]	-			
入学定員超過率 B/A	1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	100 [-]	- [-]	
2年次			
3年次			
4年次			
計	[100] (-)		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	100人	0人	令和3年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{100} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	臨床コミュニケーション	4前	1			1						
	臨床薬理学Ⅰ	4前	1			1	1					
	臨床薬理学Ⅱ	4前	1			1	1					
	医薬品安全性学	4前	1			1						
	医療統計解析学	4前	1			1			1			
	医療統計解析学演習	4前	1			1			1			
	医薬品開発学	4前	1			1	1					
	事前学習Ⅰ	4後	1			1						
	事前学習Ⅱ	4後	5			5	3	1	5			
	病院・薬局実習	5通	20			1			1			
	病院・薬局薬学	6前	1			1	1	1				
	医療安全学Ⅱ	6前		1		1						
	臨床医学	6前		1		1						
	臨床薬学演習	6前	4			6						
	薬学特別演習	6後			5	4						
	特別実習Ⅰ	3後～4通	10			19	8	6	16			
	特別実習Ⅱ	5通～6通	20			19	8	6	16			
	小計(94科目)	-	160.5	2	5	22	8	6	16	0	0	
	合計(123科目)	-	179	13	5	22	10	6	16	0	12	
卒業要件及び履修方法												
外国語は、必修科目(7単位)の他、選択必修科目(同一言語)から2単位。外国語以外の教養科目は、必修科目(11.5単位)の他、選択必修科目から4単位。専門科目は、必修科目(160.5単位)の他、選択必修科目から1単位。合計186単位を修得する。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	臨床薬理学Ⅰ	4前	1			1	1					
	臨床薬理学Ⅱ	4前	1			1	1					
	医薬品安全性学	4前	1			0						
	医療統計解析学	4前	1			0				1		
	医療統計解析学演習	4前	1			0				1		
	医薬品開発学	4前	1			1	1					
	事前学習Ⅰ	4後	1			1						
	事前学習Ⅱ	4後	5			4	3	1	5			
	病院・薬局実習	5通	20			1				1		
	病院・薬局薬学	6前	1			1	1	1				
	医療安全学Ⅱ	6前		1		1						
	臨床医学	6前		1		1						
	臨床薬学演習	6前	4			5						
	薬学特別演習	6後			5	4						
	特別実習Ⅰ	3後～4通	10			18	8	6	17			
	特別実習Ⅱ	5通～6通	20			18	8	6	17			
	小計(93科目)	-	160.5	2	5	21	8	6	17	0	0	
	合計(121科目)	-	179	13	5	21	10	6	17	0	12	
卒業要件及び履修方法												
外国語は、必修科目(7単位)の他、選択必修科目(同一言語)から2単位。外国語以外の教養科目は、必修科目(11.5単位)の他、選択必修科目から4単位。専門科目は、必修科目(160.5単位)の他、選択必修科目から1単位。合計186単位を修得する。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・カリキュラム構成の変更により、授業科目の名称を「ケア・マインド教育Ⅰ」と「ケア・マインド教育Ⅱ」を「ケア・マインド教育」に統合し、「1前」と「1後」を「1通」に、単位数を「1.5」ずつから「3」に変更。
- ・「ケア・マインド教育」の科目統合により、教養科目の小計を「29科目」から「28科目」に変更。
- ・カリキュラム構成の変更により、授業科目の名称を「薬学入門Ⅰ（早期体験学習Ⅰ）」と「薬学入門Ⅱ（早期体験学習Ⅱ）」を「薬学入門（早期体験学習）」に統合し、「1前」と「1後」を「1通」に、単位数を「1」ずつから「2」に変更。
- ・「薬学入門（早期体験学習）」の科目統合により、専門科目の小計を「94科目」から「93科目」に統合。
- ・「ケア・マインド教育」と「薬学入門（早期体験学習）」の科目統合により、授業科目の合計を「123科目」から「121科目」に変更。
- ・カリキュラム構成の変更により、「情報基礎演習」の「1後」を「1前」に変更。
- ・担当教員との時間割調整により、「国家・社会と法」の科目名を「法学」に、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム構成の変更により、「社会薬学演習Ⅰ」の科目名を「社会薬学演習」に変更。
- ・カリキュラム構成の変更により、「免疫学Ⅰ」及び「免疫学Ⅱ」を「免疫学」に統合し、「2後」と「3前」を「2後」に、単位数を「1」ずつから「1」に変更。
- ・カリキュラム構成の変更により、「病態生理学Ⅱ」及び「病態生理学Ⅲ」を「病態生理学Ⅱ」に統合し、「3前」と「3後」を「3前」に、単位数を「1」ずつから「1」に変更。
- ・カリキュラム構成の変更により、「臨床薬理学」を配当年次「3前」に新たに設置。
- ・カリキュラム構成の変更により、「臨床薬理学演習」を配当年次「3後」に新たに設置。
- ・専任教員の新規就任（AC教員審査受審予定）により、専任教員等の配置を変更
薬学基礎実習Ⅱ、専門実習（生物系）、衛生薬学演習、特別実習Ⅰ、特別実習Ⅱ
- ・専任教員の辞任により、令和3年度中に専任教員採用のため公募予定
薬物動態学Ⅰ、医薬品情報学、医薬品情報学演習、医薬品安全性学、医療統計解析学、医療統計解析学演習、事前学習Ⅱ、臨床薬学演習、特別実習Ⅰ、特別実習Ⅱ

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
109 科目	13 科目	1 科目	123 科目	107 科目 [△2]	13 科目 [0]	1 科目 [0]	121 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	免疫学Ⅱ	1	3年前期	専門	必修	両科目とも他の科目と重複する部分が多くあるため。
2	病態生理学Ⅲ	1	3年後期	専門	必修	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生便覧に変更後の科目を記載して周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{123} = \boxed{1.62\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 ■校舎敷地： 借用面積6,854.65㎡ 借用期間30年		
	校舎敷地	96,380.85 ㎡	0㎡	0㎡	96,380.85 ㎡			
	運動場用地	24,026.00 ㎡	0㎡	0㎡	24,026.00 ㎡			
	小 計	120,406.85 ㎡	0㎡	0㎡	120,406.85 ㎡			
	そ の 他	2,103.63 ㎡	0㎡	0㎡	2,103.63 ㎡			
	合 計	122,510.48 ㎡	0㎡	0㎡	122,510.48 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	57,695.27 ㎡	- ㎡	- ㎡	57,695.27 ㎡	大学全体		
	(57,695.27 ㎡)	(- ㎡)	(- ㎡)	(57,695.27 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	6室	2室	7室	1室 (補助職員 -人)	0室 (補助職員 -人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	薬学部 薬学科			19 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]
	冊	種	点	点	点			
	薬学部	3904 [313] (1810 [176])	243 [179] (186 [148])	176 [176] (148 [148])	50 32	() ()	() ()	
計	3904 [313] (1810 [176])	243 [179] (186 [148])	176 [176] (148 [148])	50 32	() ()	() ()		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	784.01㎡	83	43,056					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	626.98㎡	-						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	799千円	800千円	図書購入費	15,888千円	30,621千円	58,661千円
	共同研究費等	1,600千円	1,600千円	設備購入費	1,273,790千円	513,756千円	- 千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		555.54千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		和歌山県からの運営費交付金を充当						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	和歌山県立医科大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	1	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医学部											
医学科	6	100	-	600	学士(医学)	1.00	1.00	-	昭和27	和歌山県和歌山市紀三井寺811-1	
医学研究科											
修士課程	2	14	-	28	修士(医科学)	0.50	0.50	-	平成17	和歌山県和歌山市紀三井寺811-1	
博士課程	4	42	-	168	博士(医学)	0.70	0.48	-	昭和35	和歌山県和歌山市紀三井寺811-1	
保健看護学部											
保健看護学科	4	80	-	320	学士(保健看護学)	100.12	100.12	-	平成16年度	和歌山県和歌山市三葛588	
助産学専攻科	1	10	-	10	-	90.00	90.00	-	平成20年度	和歌山県和歌山市三葛588	
保健看護学研究科											
博士前期課程	2	12	-	24	修士(保健看護学)	41.66	41.67	-	平成20年度	和歌山県和歌山市三葛588	
博士後期課程	3	3	-	9	博士(保健看護学)	133.33	133.33	-	平成25年度	和歌山県和歌山市三葛588	
薬学部											
薬学科	6	100	-	600	学士(薬学)	1.00	1.00	-	令和3	和歌山県和歌山市七番丁25番1	
大学全体	-	361	-	1759	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜薬学部 薬学科＞

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	太田 茂 (67) ＜令和3年4月＞ 薬学博士
		薬学基礎実習Ⅱ 専門実習(生物系) 特別実習(入門) 衛生化学Ⅲ 衛生化学演習 裁判化学 薬学特別演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授 (部門長)	赤池 昭紀 (69) ＜令和3年4月＞ 薬学博士
		薬学入門Ⅱ 特別実習(入門) 薬学特別演習
専	教授 (部門長)	平田 收正 (62) ＜令和3年4月＞ 薬学博士
		薬学入門Ⅰ 特別実習(入門) 薬学特別演習

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	太田 茂 (68) ＜令和3年4月＞ 薬学博士
		薬学基礎実習Ⅱ 専門実習(生物系) 特別実習(入門) 衛生化学Ⅲ 衛生化学演習 裁判化学 薬学特別演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授 (部門長)	赤池 昭紀 (70) ＜令和3年4月＞ 薬学博士
		薬学入門Ⅱ 特別実習(入門) 薬学特別演習
専	教授 (部門長)	平田 收正 (63) ＜令和3年4月＞ 薬学博士
		薬学入門Ⅰ 特別実習(入門) 薬学特別演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安原 智久 (44) <令和3年4月> 博士(薬学)
		有機化学 有機化学演習 ケア・マインド教育Ⅰ 薬学入門Ⅰ 薬学入門Ⅰ(早期体験学習Ⅰ) 無機化学 ケア・マインド教育Ⅱ 薬学入門Ⅱ 薬学入門Ⅱ(早期体験学習Ⅱ) 災害薬学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	中津 亨 (52) <令和3年4月> 博士(農学)
		情報基礎 物理化学Ⅱ 放射化学 専門実習(物理・化学系) 機器分析化学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	相馬 洋平 (41) <令和3年4月> 博士(薬学)
		薬学基礎実習Ⅰ 有機薬化学Ⅱ 専門実習(物理・化学系) 有機薬化学Ⅲ 医薬品化学Ⅰ 医薬品化学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	田村 理 (44) <令和3年4月> 博士(薬学)
		薬学基礎実習Ⅰ 有機薬化学Ⅰ 有機薬化学演習 天然物化学・生薬学Ⅰ 専門実習(物理・化学系) 天然物化学・生薬学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安原 智久 (45) <令和3年4月> 博士(薬学)
		有機化学 有機化学演習 ケア・マインド教育 薬学入門Ⅰ 薬学入門(早期体験学習) 無機化学 薬学入門Ⅱ 災害薬学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	中津 亨 (53) <令和3年4月> 博士(農学)
		情報基礎 物理化学Ⅱ 放射化学 専門実習(物理・化学系) 機器分析化学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	相馬 洋平 (42) <令和3年4月> 博士(薬学)
		薬学基礎実習Ⅰ 有機薬化学Ⅱ 専門実習(物理・化学系) 有機薬化学Ⅲ 医薬品化学Ⅰ 医薬品化学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	田村 理 (45) <令和3年4月> 博士(薬学)
		薬学基礎実習Ⅰ 有機薬化学Ⅰ 有機薬化学演習 天然物化学・生薬学Ⅰ 専門実習(物理・化学系) 天然物化学・生薬学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長野 一也 (39) <令和3年4月> 博士(薬学)
		薬学基礎実習Ⅱ 毒性学 専門実習(生物系) 衛生化学Ⅰ 衛生化学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	長田 茂宏 (53) <令和3年4月> 博士(薬学)
		生命科学Ⅱ 生命科学Ⅲ 生命科学演習 感染防御学Ⅰ 感染防御学Ⅱ 専門実習(生物系) 感染防御学Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	三宅 歩 (50) <令和3年4月> 博士(薬学)
		生物学 分子生物学 専門実習(生物系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	那波 宏之 (63) <令和3年4月> 医学博士
		機能形態学Ⅰ 生理学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 生理学Ⅱ 専門実習(生物系) 薬理学Ⅲ 薬理学演習Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長野 一也 (40) <令和3年4月> 博士(薬学)
		薬学基礎実習Ⅱ 毒性学 専門実習(生物系) 衛生化学Ⅰ 衛生化学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	長田 茂宏 (54) <令和3年4月> 博士(薬学)
		生命科学Ⅱ 生命科学Ⅲ 生命科学演習 感染防御学Ⅰ 感染防御学Ⅱ 専門実習(生物系) 感染防御学Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	三宅 歩 (51) <令和3年4月> 博士(薬学)
		生物学 分子生物学 専門実習(生物系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	那波 宏之 (64) <令和3年4月> 医学博士
		機能形態学Ⅰ 生理学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 生理学Ⅱ 専門実習(生物系) 薬理学Ⅲ 薬理学演習Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 慎太郎 (46) <令和4年4月> 博士(医学)
		免疫学Ⅰ 病態生理学Ⅰ 免疫学Ⅱ 病態生理学Ⅱ 専門実習(医療系) 病態生理学Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	新谷 紀人 (45) <令和4年4月> 博士(薬学)
		薬理学Ⅰ 薬理学演習Ⅰ 薬理学Ⅱ 薬理学演習Ⅱ 専門実習(医療系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	岩倉 浩 (48) <令和4年4月> 博士(医学)
		薬物治療学Ⅰ 薬物治療学Ⅱ 専門実習(医療系) 薬物治療学Ⅲ 薬物治療学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	岩尾 康範 (41) <令和3年4月> 博士(薬学)
		基礎物理学 物理化学Ⅰ 物理化学演習Ⅰ 専門実習(物理・化学系) 製剤学Ⅰ 製剤学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 慎太郎 (47) <令和4年4月> 博士(医学)
		免疫学 病態生理学Ⅰ 病態生理学Ⅱ 専門実習(医療系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	新谷 紀人 (46) <令和4年4月> 博士(薬学)
		薬理学Ⅰ 薬理学演習Ⅰ 薬理学Ⅱ 薬理学演習Ⅱ 専門実習(医療系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	岩倉 浩 (49) <令和4年4月> 博士(医学)
		薬物治療学Ⅰ 薬物治療学Ⅱ 専門実習(医療系) 薬物治療学Ⅲ 薬物治療学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	岩尾 康範 (42) <令和3年4月> 博士(薬学)
		基礎物理学 物理化学Ⅰ 物理化学演習Ⅰ 専門実習(物理・化学系) 製剤学Ⅰ 製剤学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 嘉朗 (55) <令和5年4月> 博士(薬学)
		薬物動態学Ⅰ 医薬品情報学 医薬品情報学演習 医薬品安全性学 医療統計解析学 医療統計解析学演習 事前学習Ⅱ 臨床薬学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	辻 早代加 (32) <令和3年4月> 博士(文学)
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB
専	准教授	朱 妹 (46) <令和4年4月> 博士(薬学)
		薬学英語Ⅰ 薬学英語Ⅱ 薬学英語Ⅲ
専	准教授	入江 克雅 (43) <令和3年4月> 博士(理学)
		情報基礎演習 物理化学演習Ⅱ 専門実習(物理・化学系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	田中 千晶 (45) <令和3年4月> 博士(理学)
		有機化学演習 薬学基礎実習Ⅰ 有機薬化学演習 専門実習(物理・化学系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	辻 早代加 (33) <令和3年4月> 博士(文学)
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB
専	准教授	朱 妹 (47) <令和4年4月> 博士(薬学)
		薬学英語Ⅰ 薬学英語Ⅱ 薬学英語Ⅲ
専	准教授	入江 克雅 (44) <令和3年4月> 博士(理学)
		情報基礎演習 物理化学演習Ⅱ 専門実習(物理・化学系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	田中 千晶 (46) <令和3年4月> 博士(理学)
		有機化学演習 薬学基礎実習Ⅰ 有機薬化学演習 専門実習(物理・化学系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	菱田 友昭 (41) ＜令和3年4月＞ 博士(薬学)
		生命科学Ⅰ 生命科学演習 専門実習(生物系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	木口 倫一 (38) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		機能形態学Ⅰ 生理学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 生理学Ⅱ 専門実習(生物系) 薬理学Ⅲ 薬理学演習Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	佐能 正剛 (43) ＜令和3年4月＞ 博士(医薬学)
		薬学基礎実習Ⅱ 専門実習(生物系) 衛生化学Ⅲ 衛生化学演習 薬物動態学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	松本 みさき (39) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		医療倫理 事前学習Ⅱ 病院・薬局薬学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	山下 哲 (36) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		医薬品開発学 事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	菱田 友昭 (42) ＜令和3年4月＞ 博士(薬学)
		生命科学Ⅰ 生命科学演習 専門実習(生物系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	木口 倫一 (39) ＜令和3年4月＞ 博士(医学)
		機能形態学Ⅰ 生理学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 生理学Ⅱ 専門実習(生物系) 薬理学Ⅲ 薬理学演習Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	佐能 正剛 (44) ＜令和3年4月＞ 博士(医薬学)
		薬学基礎実習Ⅱ 専門実習(生物系) 衛生化学Ⅲ 衛生化学演習 薬物動態学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	松本 みさき (40) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		医療倫理 事前学習Ⅱ 病院・薬局薬学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	山下 哲 (37) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		医薬品開発学 事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	佐々木 大輔 (36) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		薬学基礎実習Ⅰ 専門実習(物理・化学系) 医薬品化学Ⅰ 医薬品化学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	講師	山下 琢矢 (38) ＜令和3年4月＞ 博士(薬学)
		薬学基礎実習Ⅱ 毒性学 専門実習(生物系) 衛生化学Ⅰ 衛生化学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	講師	難波 寿明 (52) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		機能形態学Ⅰ 生理学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 生理学Ⅱ 専門実習(生物系) 薬理学Ⅲ 薬理学演習Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	講師	岩田 圭子 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		薬理学Ⅰ 薬理学演習Ⅰ 薬理学Ⅱ 薬理学演習Ⅱ 専門実習(医療系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	佐々木 大輔 (37) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		薬学基礎実習Ⅰ 専門実習(物理・化学系) 医薬品化学Ⅰ 医薬品化学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	講師	山下 琢矢 (39) ＜令和3年4月＞ 博士(薬学)
		薬学基礎実習Ⅱ 毒性学 専門実習(生物系) 衛生化学Ⅰ 衛生化学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	講師	難波 寿明 (53) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		機能形態学Ⅰ 生理学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 生理学Ⅱ 専門実習(生物系) 薬理学Ⅲ 薬理学演習Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	講師	岩田 圭子 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		薬理学Ⅰ 薬理学演習Ⅰ 薬理学Ⅱ 薬理学演習Ⅱ 専門実習(医療系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	福田 達也 (31) ＜令和3年4月＞ 博士(薬学)
		物理化学Ⅰ 物理化学演習Ⅰ 専門実習(物理・化学系) 製剤学Ⅰ 製剤学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	永田(金山) 実沙 (27) ＜令和3年4月＞ 学士(薬学)
		ケア・マインド教育Ⅰ 薬学入門Ⅰ 薬学入門Ⅰ(早期体験学習Ⅰ) ケア・マインド教育Ⅱ 薬学入門Ⅱ 薬学入門Ⅱ(早期体験学習Ⅱ) 災害薬学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	大西 裕介 (27) ＜令和3年4月＞ 修士(理学)
		放射化学 専門実習(物理・化学系) 機器分析化学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	澤崎 鷹 (25) ＜令和3年4月＞ 修士(薬科学)
		薬学基礎実習Ⅰ 有機薬化学Ⅱ 専門実習(物理・化学系) 有機薬化学Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	氏家 和紀 (26) ＜令和3年4月＞ 修士(薬科学)
		薬学基礎実習Ⅰ 専門実習(物理・化学系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	福田 達也 (32) ＜令和3年4月＞ 博士(薬学)
		物理化学Ⅰ 物理化学演習Ⅰ 専門実習(物理・化学系) 製剤学Ⅰ 製剤学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	永田(金山) 実沙 (28) ＜令和3年4月＞ 博士(薬学)
		ケア・マインド教育 薬学入門Ⅰ 薬学入門(早期体験学習) 薬学入門Ⅱ 災害薬学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	大西 裕介 (28) ＜令和3年4月＞ 修士(理学)
		放射化学 専門実習(物理・化学系) 機器分析化学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	澤崎 鷹 (26) ＜令和3年4月＞ 修士(薬科学)
		薬学基礎実習Ⅰ 有機薬化学Ⅱ 専門実習(物理・化学系) 有機薬化学Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	氏家 和紀 (27) ＜令和3年4月＞ 修士(薬科学)
		薬学基礎実習Ⅰ 専門実習(物理・化学系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堤 峻太郎 (25) ＜令和4年4月＞ 修士(理学)
		薬学基礎実習Ⅱ 毒性学 専門実習(生物系) 衛生化学Ⅰ 衛生化学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	中西 和也 (27) ＜令和3年4月＞ 修士(薬科学)
		感染防御学Ⅱ 専門実習(生物系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	藤林 英徳 (26) ＜令和3年4月＞ 修士(薬科学)
		専門実習(生物系) 感染防御学Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	野口 雅史 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		薬理学演習Ⅰ 薬理学演習Ⅱ 専門実習(医療系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	延生 卓也 (31) ＜令和4年4月＞ 博士(獣医学)
		薬物治療学Ⅰ 薬物治療学Ⅱ 専門実習(医療系) 薬物治療学Ⅲ 薬物治療学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堤 峻太郎 (26) ＜令和4年4月＞ 修士(理学)
		薬学基礎実習Ⅱ 毒性学 専門実習(生物系) 衛生化学Ⅰ 衛生化学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	中西 和也 (28) ＜令和3年4月＞ 修士(薬科学)
		感染防御学Ⅱ 専門実習(生物系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	藤林 英徳 (27) ＜令和3年4月＞ 修士(薬科学)
		専門実習(生物系) 感染防御学Ⅲ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	野口 雅史 (37) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		薬理学演習Ⅰ 薬理学演習Ⅱ 専門実習(医療系) 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	延生 卓也 (32) ＜令和4年4月＞ 博士(獣医学)
		薬物治療学Ⅰ 薬物治療学Ⅱ 専門実習(医療系) 薬物治療学Ⅲ 薬物治療学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	上田(三和)陽子 (32) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		薬物治療学Ⅰ 薬物治療学Ⅱ 専門実習(医療系) 薬物治療学Ⅲ 薬物治療学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	池田(今福)真由美 (27) ＜令和4年4月＞ 博士(薬科学)
		専門実習(物理・化学系) 製剤学Ⅰ 製剤学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	荻原 孝史 (28) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	射場 日佳里 (27) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	小柳 円花 (28) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	上田(三和)陽子 (33) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		薬物治療学Ⅰ 薬物治療学Ⅱ 専門実習(医療系) 薬物治療学Ⅲ 薬物治療学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	池田(今福)真由美 (28) ＜令和4年4月＞ 博士(薬科学)
		専門実習(物理・化学系) 製剤学Ⅰ 製剤学Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	荻原 孝史 (29) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	射場 日佳里 (28) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	小柳 円花 (29) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	
専	教授 (部門長)	松原 和夫 (65) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		特別実習(入門) 裁判化学 医療安全学Ⅰ 薬学特別演習
専	教授	須野 学 (50) ＜令和3年4月＞ 博士(薬学)
		ケア・マインド教育Ⅰ 薬学入門Ⅰ 薬学入門Ⅰ(早期体験学習Ⅰ) ケア・マインド教育Ⅱ 薬学入門Ⅱ 薬学入門Ⅱ(早期体験学習Ⅱ) 社会薬学Ⅰ 社会薬学Ⅱ 社会薬学演習Ⅰ がん・化学療法学 臨床薬学概論 事前学習Ⅰ 事前学習Ⅱ 病院・薬局実習 臨床薬学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	中川 貴之 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		医療倫理 病院・薬局薬学 臨床薬学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	高岡 尚輝 (28) ＜令和3年4月＞ 修士(薬科学)
		薬学基礎実習Ⅱ 専門実習(生物系) 衛生化学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授 (部門長)	松原 和夫 (66) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		特別実習(入門) 裁判化学 医療安全学Ⅰ 薬学特別演習
専	教授	須野 学 (51) ＜令和3年4月＞ 博士(薬学)
		ケア・マインド教育 薬学入門Ⅰ 薬学入門(早期体験学習) 薬学入門Ⅱ 社会薬学Ⅰ 社会薬学Ⅱ 社会薬学演習 がん・化学療法学 臨床薬学概論 事前学習Ⅰ 事前学習Ⅱ 病院・薬局実習 臨床薬学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	中川 貴之 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		医療倫理 病院・薬局薬学 臨床薬学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡田 浩 (55) <令和5年4月> 博士(社会健康医学)
		地域医療薬学Ⅰ 地域医療薬学Ⅱ 社会薬学Ⅳ 社会薬学Ⅴ 医療安全学Ⅰ 事前学習Ⅱ 医療安全学Ⅱ 臨床薬学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	講師	岡田 浩 (55) <令和4年4月> 博士(社会健康医学)
		地域医療薬学Ⅰ 地域医療薬学Ⅱ
専	教授	江頭 伸昭 (54) <令和5年4月> 博士(薬学)
		社会薬学Ⅲ 臨床感染制御学 臨床コミュニケーション 臨床薬剤学Ⅰ 臨床薬剤学Ⅱ 事前学習Ⅱ 臨床薬学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	今井 哲司 (43) <令和5年4月> 博士(薬学)
		医薬品開発学 事前学習Ⅱ 臨床医学 臨床薬学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	山田 孝明 (38) <令和5年4月> 博士(薬学)
		社会薬学Ⅲ 臨床感染制御学 臨床薬剤学Ⅰ 臨床薬剤学Ⅱ 事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡田 浩 (56) <令和5年4月> 博士(社会健康医学)
		地域医療薬学Ⅰ 地域医療薬学Ⅱ 社会薬学Ⅳ 社会薬学Ⅴ 医療安全学Ⅰ 事前学習Ⅱ 医療安全学Ⅱ 臨床薬学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	講師	岡田 浩 (56) <令和4年4月> 博士(社会健康医学)
		地域医療薬学Ⅰ 地域医療薬学Ⅱ
専	教授	江頭 伸昭 (55) <令和5年4月> 博士(薬学)
		社会薬学Ⅲ 臨床感染制御学 臨床コミュニケーション 臨床薬剤学Ⅰ 臨床薬剤学Ⅱ 事前学習Ⅱ 臨床薬学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	教授	今井 哲司 (44) <令和5年4月> 博士(薬学)
		臨床薬理学 臨床薬理学演習 医薬品開発学 事前学習Ⅱ 臨床医学 臨床薬学演習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	准教授	山田 孝明 (39) <令和5年4月> 博士(薬学)
		社会薬学Ⅲ 臨床感染制御学 臨床薬剤学Ⅰ 臨床薬剤学Ⅱ 事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	土井 光則 (41) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		医療倫理 災害薬学 事前学習Ⅱ 病院・薬局薬学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	伊藤 雄大 (28) ＜令和4年4月＞ 学士(薬学)
		ケア・マインド教育Ⅰ 薬学入門Ⅰ 薬学入門Ⅰ(早期体験学習Ⅰ) ケア・マインド教育Ⅱ 薬学入門Ⅱ 薬学入門Ⅱ(早期体験学習Ⅱ) 社会薬学演習Ⅰ がん・化学療法学 臨床薬学概論 事前学習Ⅱ 病院・薬局実習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	岩井 佑磨 (33) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		医薬品情報学 医薬品情報学演習 医療統計解析学 医療統計解析学演習 事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
兼担	教授	神谷 隆一 (52) ＜令和3年4月＞ 法務博士(専門職)
		国家・社会と法
兼担	教授	下川 敏雄 (44) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		統計基礎

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	土井 光則 (42) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		医療倫理 災害薬学 事前学習Ⅱ 病院・薬局薬学 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	伊藤 雄大 (29) ＜令和4年4月＞ 学士(薬学)
		ケア・マインド教育 薬学入門Ⅰ 薬学入門Ⅰ(早期体験学習) 薬学入門Ⅱ 社会薬学演習 がん・化学療法学 臨床薬学概論 事前学習Ⅱ 病院・薬局実習 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
専	助教	岩井 佑磨 (34) ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		医薬品情報学 医薬品情報学演習 医療統計解析学 医療統計解析学演習 事前学習Ⅱ 特別実習Ⅰ 特別実習Ⅱ
兼担	教授	神谷 隆一 (53) ＜令和3年4月＞ 法務博士(専門職)
		法学
兼担	教授	下川 敏雄 (45) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		統計基礎

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	増田 匡裕 (51) <令和3年4月> PhD (Communication Studies) (アメリカ合衆国)
		心理学
兼担	准教授	石井 拓 (43) <令和3年4月> 博士(心理学)
		心理学
兼担	准教授	山東 資子 (48) <令和3年4月> 博士(文学)
		文学
兼任	教授	池田 拓人 (47) <令和3年4月> 博士(学校教育学)
		保健体育
兼任	准教授	小関 彩子 (49) <令和3年4月> 博士(人間・環境学)
		哲学
兼任	准教授	築田 優 (41) <令和3年4月> 博士(経済学)
		経済学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	増田 匡裕 (52) <令和3年4月> PhD (Communication Studies) (アメリカ合衆国)
		心理学
兼担	准教授	石井 拓 (44) <令和3年4月> 博士(心理学)
		心理学
兼担	准教授	山東 資子 (49) <令和3年4月> 博士(文学)
		文学
兼任	教授	池田 拓人 (48) <令和3年4月> 博士(学校教育学)
		保健体育
兼任	准教授	小関 彩子 (50) <令和3年4月> 博士(人間・環境学)
		哲学
兼任	准教授	西尾 圭一郎 (42) <令和3年4月> 博士(商学)
		経済学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	神竹 道士 (66) <令和3年4月> Dr.Phil.(ドイツ)
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	藤本 智成 (46) <令和3年4月> 修士(文学)
		フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	中尾 静 (56) <令和3年4月> 学士(数学)
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	恒松 伸 (51) <令和3年4月> 博士(文学)
		心理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	神竹 道士 (67) <令和3年4月> Dr.Phil.(ドイツ)
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	藤本 智成 (47) <令和3年4月> 修士(文学)
		フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	中尾 静 (57) <令和3年4月> 学士(数学)
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	恒松 伸 (52) <令和3年4月> 博士(文学)
		心理学

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任, 兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
46	14
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
22	10	6	16	54	0	14	6	4	7	31	0
(14)	(6)	(4)	(7)	(31)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
21	10	6	17	54	0	22	10	7	21	60	0
△ 1	0	0	1	0	0	0	0	1	5	6	0

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	5
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{54}{54} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{31} = \boxed{9.67} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・ 令和3年4月高岡尚輝助教就任。令和3年6月にAC教員審査受審予定。
- ・ 齋藤嘉朗教授就任辞退。後任未定であるが、令和3年度中に専任教員採用のため公募予定。
- ・ 築田優准教授（兼任）就任辞退により、西尾圭一郎准教授（兼任）に変更。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	齋藤 嘉朗	R3.4	必修	薬物動態学Ⅰ	③	R3.4 一身上の都合により就任辞退（3）			
				必修	医薬品情報学	③				
				必修	医薬品情報学演習	③				
				必修	医薬品安全性学	③				
				必修	医療統計解析学	③				
				必修	医療統計解析学演習	③				
				必修	事前学習Ⅱ	③				
				必修	臨床薬学演習	③				
				必修	特別実習Ⅰ	③				
				必修	特別実習Ⅱ	③				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{54} = 1.85 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 齋藤嘉朗教授就任辞退。後任未定であるが、令和3年度中に専任教員採用のため公募予定。学生に対しては、授業時間割等で周知予定。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和2年11月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学部 薬学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	—

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 4月から薬学部にFD委員会を設置。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 委員8名(教員7名、事務1名)で月に1回開催予定。</p> <p>c 委員会の審議事項等 教育や研究、学生に関する協議</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 委員長と副委員長の選出 今後の活動方針とスケジュール 授業評価アンケートの内容協議 等</p> <p>b 実施方法 会議</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む) 月に1回開催、委員8名で構成される。(内訳:教授3名、准教授1名、講師3名、事務1名)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 FD活動の年間スケジュールを決定した。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施有、協議中</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 公開予定。オンライン形式を予定。</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
本学部は、現時点（5月1日）で総括評価は行っていない。本学では、中期計画に基づいて毎年、年度計画を策定し、年度終了後に自己点検・評価を実施することで教育・研究活動の達成管理を行っている。
本学部に関しては、学生進行終了時、令和9年3月以降に本格的な自己点検・評価を実施していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
年度末に各教員に向けて自己点検・評価報告書資料（紙媒体）で公表。

b 公表方法
2026年に自己点検・評価報告書を作成し、紙面もしくはHP上で公表する。

③ 認証評価を受ける計画
2027年に認証を受けるため、2026年には自己点検・評価報告書を作成する。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。